

特別展 相模川を歩く

1990年3月17日(土)～4月22日(日)



「相模川流域の自然と文化」をテーマとする本館では、開館10周年を記念し、昭和62年4月から「相模川を歩く会」を行っています。

この会は、流域の自然を観察したり、人々の暮らしぶりなどを訪ねながら、相模川の源流まで歩くのが目的です。

月に1回ずつ約8kmを歩き、昨年11月に源流の1つである山中湖に到達しました。各回、25～50人もの方々が参加され、それぞれの見聞をまとめた小冊子「相模川を歩く」は9号まで発行しました。

今回の特別展は山中湖までの踏破を記念し、歩く会の活動記録、流域の景観、相模川の魚や河原の動植物、流路の移り変わりを知ることができる絵図や地図、そして川の魚をとる漁具、砂利振り

(砂利採取)の道具、富士信仰資料などを展示します。

展示テーマ

- I. 流路の変化 江戸時代の絵図、明治時代の地図と現在の流れをくらべ、流路の変化を紹介します。
- II. 流域をたどる 河口から山中湖までの流域の景観写真や特色ある資料を展示します。
- III. 相模川の魚 相模川に棲む約80種の魚の標本を展示します。
- IV. 川のなりわい 川漁や砂利振りなど、川を舞台とした仕事の道具を紹介します。

会期 3月17日(土)～4月22日(日)

会場 博物館 特別展示室
